

長崎県議会議員 ごうまなみ

県政報告 Vol.2



2016年 春号

❀ごあいさつ❀



4月の改選後、引き続き文教厚生委員会に所属し「教育、医療、福祉」行政に深く関わることができました。後半は副委員長を拝命いただき、委員長と共に要職を担当させていただきました。

また、観光振興等対策特別委員会の委員長を拝命いたしまして「長崎県を真の観光立県に！」の想いを胸に、観光客誘致、観光消費額アップに向けて、クルーズ船の受け入れ体制や長崎空港24時間化などについて担当部局とやり取りさせていただきました。

平成27年度の最後の定例会議では一般質問に立ち、女性の活躍推進、しょうがい者施策、子どもの貧困などについて質問し県政への改善提案をいたしました。

平成28年度は、まちづくり経済雇用対策特別委員会委員長という要職を拝命いただきました。長崎県の未来のために尽力いたします。

今後とも、ご支持ご期待にお応えできるよう頑張っておりますので、ご指導いただきますよう心よりお願い申し上げます。

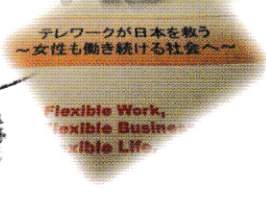
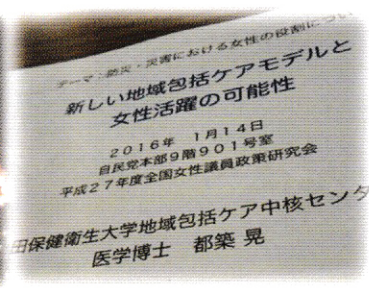
ごうまなみ

❀暮らしやすい長崎への提案❀ 3月2日一般質問を終えました。

■主な質問内容■

- 1) 女性の活躍推進について
 - ①ながさき女性輝き応援プロジェクト
 - ②テレワークの推進
- 2) 観光について
 - ①本県の観光を取り巻く現状及び課題
 - ②観光産業活性化に向けた具体的取り組み
- 3) 防災・減災について
 - ①防災計画における女性の視点
 - ②しょうがい者の防災対策
- 4) 動物愛護について
 - ①長崎県内の動物管理センターの現状
 - ②犬猫殺処分ゼロに向けた取り組みと課題
- 5) 子供の貧困対策について
 - ①長崎県の現状
 - ②今後の取り組み
- 6) まちづくりについて
 - ①長崎駅を中心としたまちづくり
 - ②三菱重工幸町工場跡地

他



❀ 3月に行った一般質問を掲載いたします（一部のみ掲載となります）❀

■女性の活躍推進・「ながさき女性輝きプロジェクト」・テレワークの推進について

平成27年8月に「女性活躍推進法」が成立しました。女性活躍推進の為に経営者と同時に働く女性の意識を高めることも必要であり、両方のニーズに配慮する施策と環境整備を進める必要があると考えています。長崎県ではながさき女性活躍推進会議が発足し、女性の登用促進や、仕事と家庭等を両立しやすい職場環境づくりに取り組むことが宣言され、ライフステージに応じた細やかな支援を行うウーマンズジョブほっとステーションも開設され、女性の就業促進につながっているそうです。

質問では、平成27年度、経営者の意識改革促進へ向けたセミナー開催、先進的な取り組みがなされている企業・団体の表彰や事例の情報発信、フォーラム等が実施されていること、また趣旨に賛同した会員企業は146（2月現在）となったことを確認しました。平成28年度はセミナーの拡充、経営者の意識改革、アドバイザーを活用した会員企業の実施宣言の支援、ウーマンズジョブほっとステーションによる市町への巡回相談、女性の就労と登用促進、管理職や地域のリーダー研修実施とともに市町や経済団体等と連携し、女性人材育成充実が図られる計画であることを県民生活部長より確認しました。

また昨今さまざまな政策にテレワークの考えが盛り込まれ、業務の効率化、優秀な人材の確保、ワークライフバランスの向上、女性・障害者・高齢者の就業促進なども期待されています。離島を有する長崎県だからこそ、長崎県のICT戦略の中にしっかりと盛り込み、今こそ推進していくべきであるとも考えています。

*その他の質問にも回答をいただきました。今後、少しずつ配信を予定しております。一般質問の様子は、議場にて見ていただくことができます。是非ともお越しください。

■長崎県の子どもの貧困対策について

厚生労働省が発表した国民生活基礎調査（平成24年時点）では、6人に1人の子どもが平均生活水準の半分以下とされ、大学の研究では九州各県の子どもの貧困率は高い結果を示しています。これにはさまざまな原因が考えられ、支援のあり方も難しいのが現状です。質問では、本県の子どもの貧困の状況と今後の取り組みについて、福祉保健部ごとも政策局長にお聞きしました。

生活保護や準要保護世帯、児童扶養手当受給のひとり親家庭の子どもが、まず支援を要する緊急度が高いと思われるが、その割合は全国平均より本県では高値を示しており、本県の子どもの貧困の状況は、厳しい状況にあると予測されていました。今後の取り組みについては、貧困の実態や取り組みに協力できる団体など社会資源状況が異なることから、住民に身近な市町への情報提供を行いながら、取り組み推進を図る計画であること、そして民間のボランティア的支援について、国が創設を予定している「子どもの未来応援基金」適用の検討やどのような支援ができるのか聴取しながら研究を行っていくと確認しました。

次年度はすでに、生活困窮世帯児童への学習支援、ひとり親等への就業生活支援、学校を窓口とした福祉機関との連携にも取り組まれることも示されていますが、私はこれらの取り組み以上に、そのもっと手前の生きている部分、子どもの居場所づくりについても支援が必要になると考えています。現在策定計画の長崎県子どもの貧困対策推進方針においては、生活支援の中で、基本的な生活学習習得などを含めた学習支援事業の実施も計画されていることを確認することができました。

❀ 平成27年度も、多くの方々にお世話になり、ありがとうございました ❀



ごとう まなみ

長崎県議会議員
文教厚生委員会委員
まちづくり雇用対策特別委員会委員長

最後までお読みいただきありがとうございます。ごとうまなみに対するご意見やご要望などをお寄せ下さい。またこの県政報告に対するご意見などもございましたら、お待ちしております。

宛先 ごとうまなみ事務所

長崎県長崎市中里町1568-7

TEL. 095-813-3005

FAX. 095-813-3005

製作 ごとうまなみ・西本 加奈

印刷 電脳工房（障害福祉サービス事業所）